

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業[企業との連携事業(まなび CAN・CSR 事業)]を開催しました。

平成 29 年 9 月 13 日 (水)、四国電力株式会社 高松支店の林 直彦さん、村上 雅俊さんを講師に迎え、「ふれあい出前講座～生活の中の「電気」や「エネルギー」～」と題して、①身の回りの放射線を確認しよう、②なるほど！環境・エネルギー、③家庭の電気安全・停電対策、の3つの内容についての説明がありました。



#### ①身の回りの放射線を確認しよう

私たちの身の回りの様々なものから放射線は放出されており、こんぶやコーヒーなど、身近な物からも放射線が出ていることについて説明があり、その後、実際に自分の目で放射線を確認するため、ドライアイスを用いた霧箱を作成し、試料から出る放射線の飛跡

を観察しました。受講生は初めて見る放射線に感動していました。講師からは重要なのは放射線の有無でなく、どのくらいの量の放射線を浴びるのが問題であるとの説明がありました。

#### ②なるほど！環境・エネルギー

人間がエネルギーを利用する量は年々上昇しており、それに伴い、世界の平均気温も上昇傾向にあること、また、二酸化炭素排出量が世界第2位であるアメリカ合衆国が国連気候変動枠組条約である COP21（パリ協定）からの離脱を表明したことによる影響について説明があり、受講生は現在のエネルギー事情について認識を深めた様子でした。



#### ③家庭の電気安全・停電対策

近年の火災の原因は放火・たばこ・たき火・コンロ・ストーブに続き、電気火災が多く、講師からは火災が発生しないための電気器具の安全な使用方法について説明がありました。“濡れた手でプラグやコンセントを触らない”、“コードを束ねて使わない”、“定期的にプラグを抜いて乾いた布で清掃する”といったことにより、電気火災の発生を防止できるとのことでした。また、突然の停電時の対処法として、ブレーカーの操作方法について、模型を使用して、わかりやすく説明があり、受講生からは、生活に役立つ内容の講座であったとの声がありました。